いくつになっても、美容室にいくのが困難になってもおしゃれを楽しみたい…
そんな高齢者がいる場所に「スマイルを届けに来る美容師」が増加の兆し！

来るスマ美容師

（くるすまびようし）

10代～20代の頃からおしゃれを楽しんできた世代が高齢者となり、
その人数は今後加速していきます。いくつになっても、今までのようにおしゃれを
楽しみたい。それが、人に会いたい気持ちや生きがいにもつながります。

2018年は、介護保険制度改正、介護報酬改定の年。
介護業界に注目が集まることが予想され、高齢者向けの美容・健康など、
関連・周辺サービスにも新しい動きがありそうです。

一方で、美容業界はサロン数が増え続け、人口減少とともに競争が激化。
サービス拡充によるサロンの差別化、美容師の働き方の多様化など変化が出始めています。

「カリスマ美容師」から「来るスマ美容師」の時代へ。
美容室にいくのが困難な高齢者により良い美容サービスを提供する、
「自宅や施設にスマイルを届けに来てくれる美容師」が、今後ますます増えていきそうです。

「来るスマ美容師」が行う訪問美容について

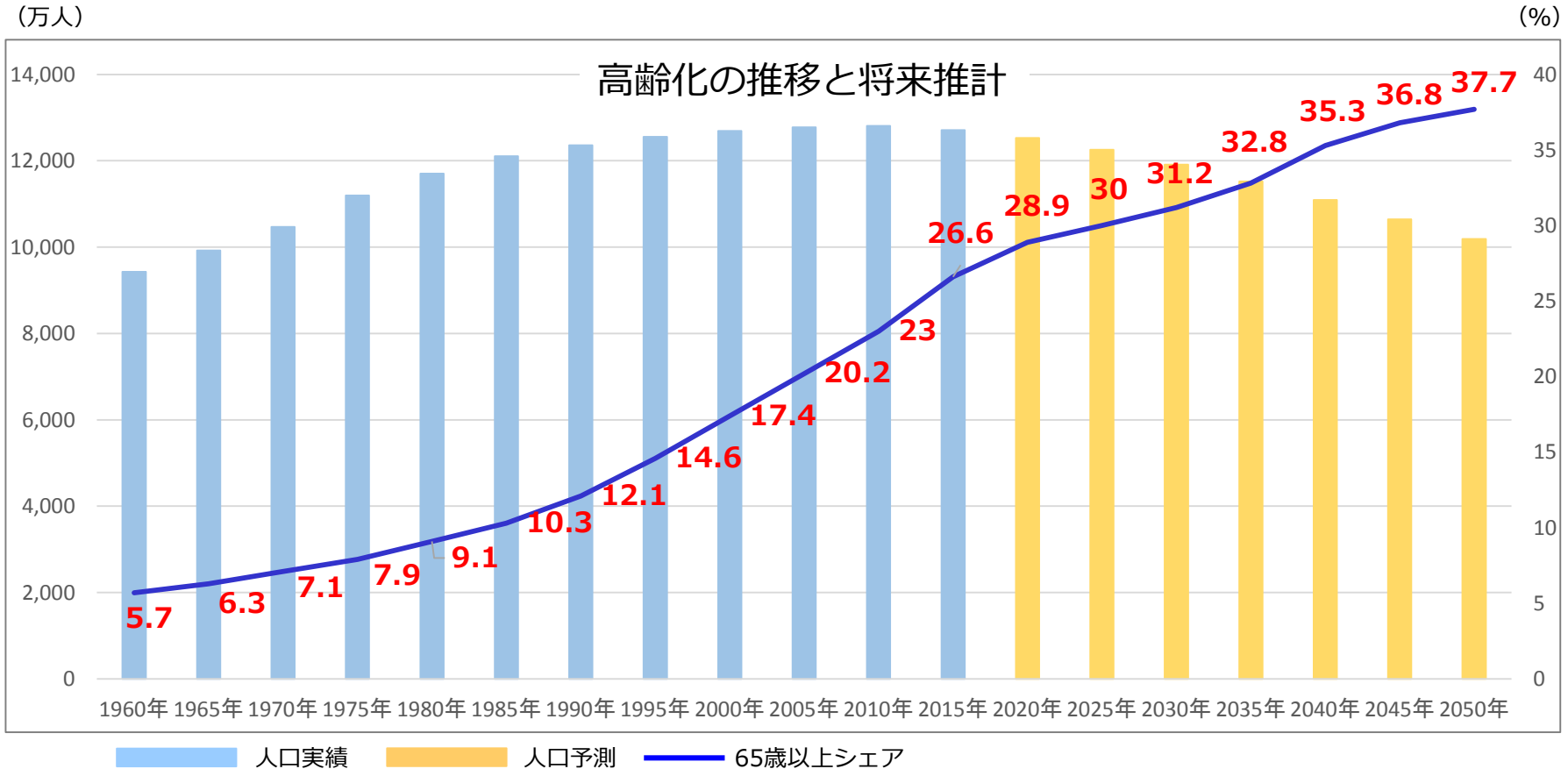
美容師がご自宅や施設へ伺い、カットやカラーなどの施術をするサービス。
疾病その他の理由で美容室にいくのが困難な方などが、サービスの対象となります。

※ご自身で美容室にいくことが可能な方のもとへ訪問し、美容を行うことは原則できませんが、
一部例外があります。詳しくは下記をご参照ください。

美容師法	第７条 ■美容師は、美容所以外の場所において、美容の業をしてはならない。 ただし、政令で定める特別の事情がある場合には、この限りではない。
美容師法 施行令	第４条 ■疾病その他の理由により、美容所に来ることができない者に対して美容を行う場合 ■婚礼その他の儀式に参列する者に対してその儀式の直前に美容を行う場合 ■都道府県や保健所を設置する市・特別区が条例で定める場合
美容師法 施行条例	例／東京都　第４条 ■山間部等における美容所のない地域に居住する者に対して、その居住地で施術を行う場合 ■社会福祉施設等において、その入所者に対して施術を行う場合 ■演劇に出演する者等に対して、出演等の直前に施術を行う場合
出張美容 (訪問美容)の 対象について ※2016年3月 通知	美容師法施行令　第４条 ■疾病その他の理由により、美容所に来ることができない者に対して美容を行う場合 ↓　以下が該当 ■疾病の状態にある場合のほか、骨折、認知症、障害、寝たきり等の要介護状態にある等の状態にある者であって、その状態の程度や生活環境に鑑み、社会通念上、理容所又は美容所に来ることが困難であると認められるもの ■自宅等において、常時、家族である乳幼児の育児又は重度の要介護状態にある高齢者等の介護を行っている者であって、その他の家族の援助や行政等による育児又は介護サービスを利用することが困難であり、仮に、自宅等に育児又は介護を受けている家族を残して理容所又は美容所に行った場合には、当該家族の安全性を確保することが困難になると認められるもの

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～人口の変化

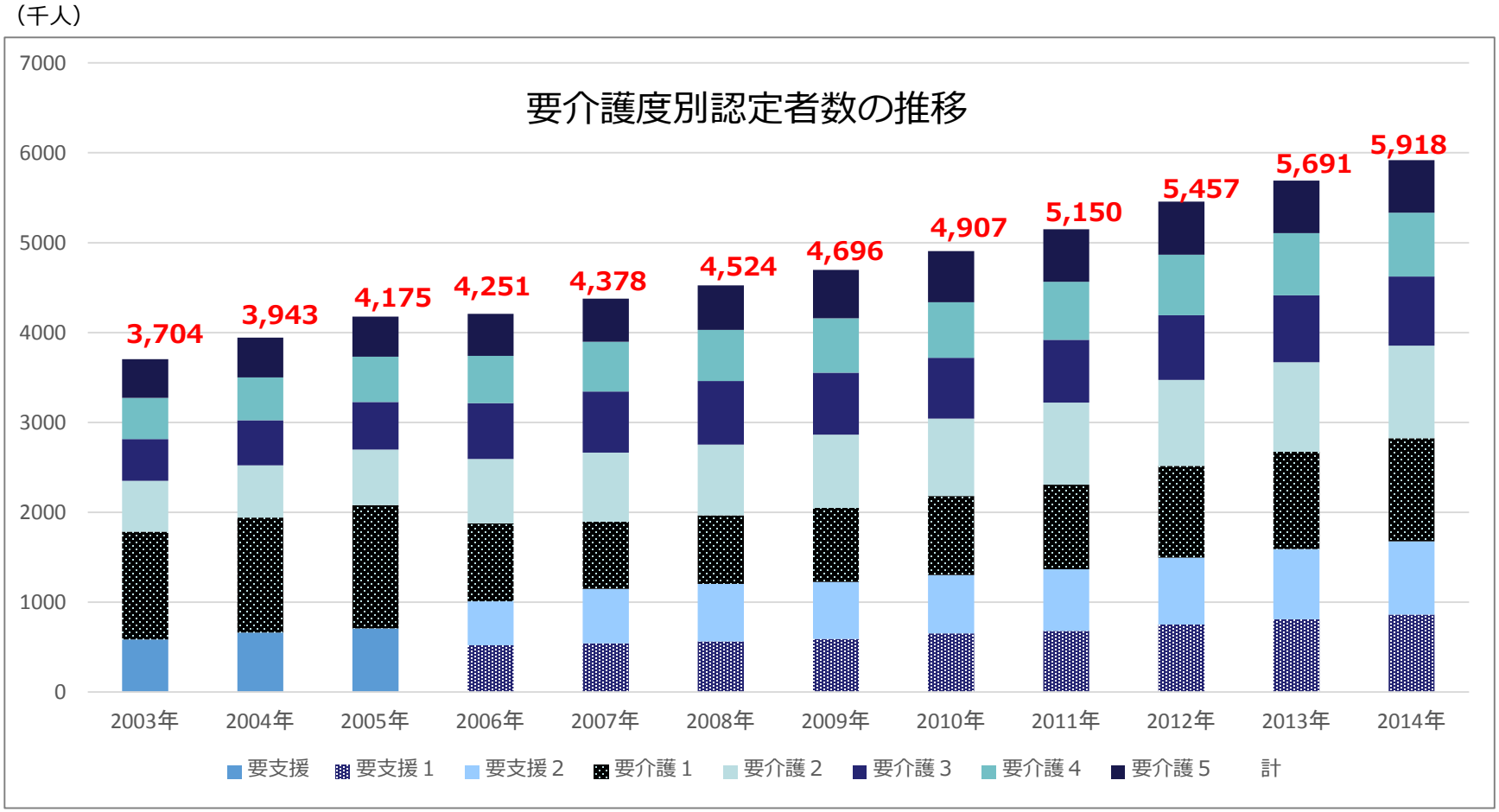
人口が減る一方で、高齢化率は上昇。
2025年に団塊世代が後期高齢者となり、
2035年には人口の約3人に1人が65歳以上の時代へ。



出典：内閣府　平成29年版高齢社会白書

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～要介護者数の増加

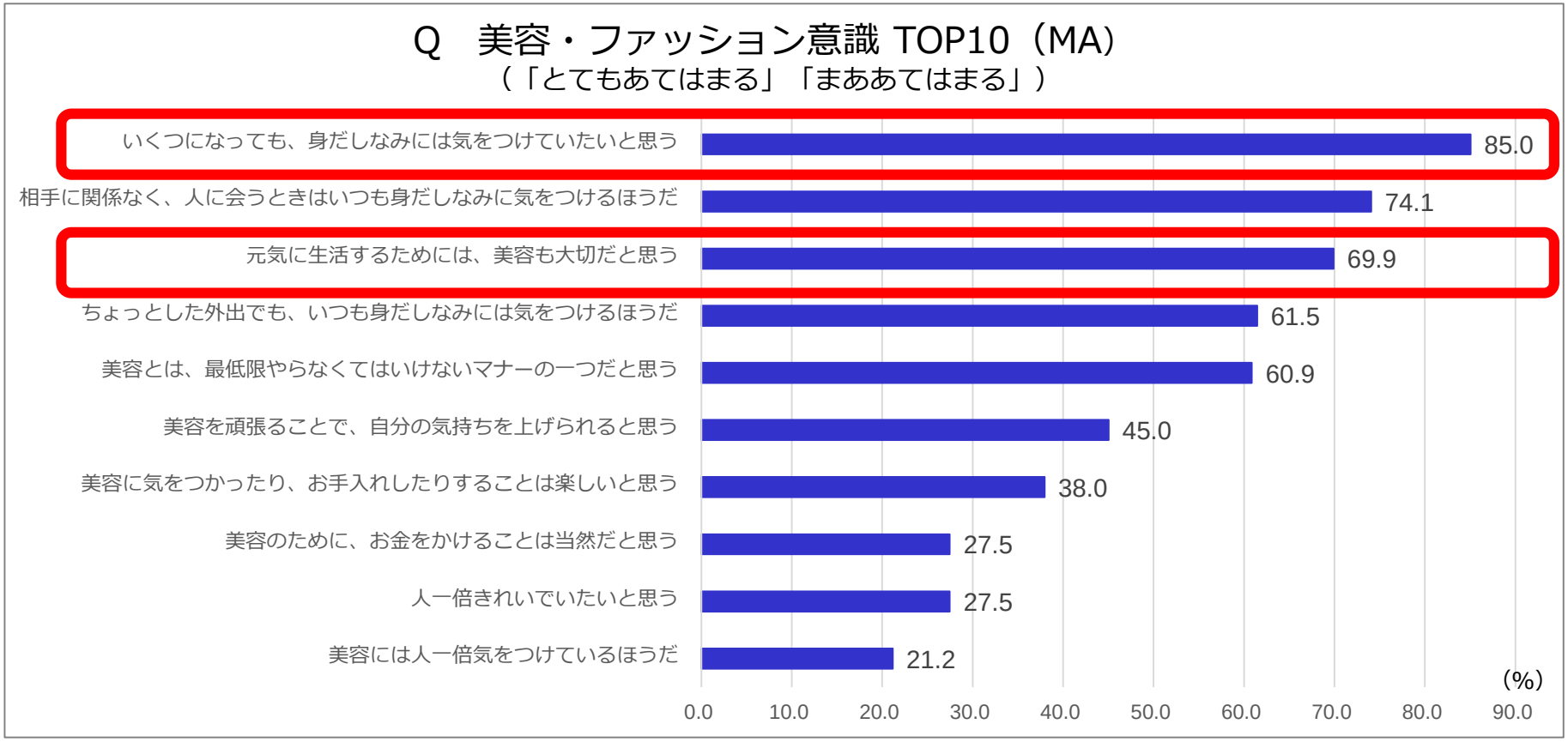
美容室へくのが困難となる「要支援」「要介護」認定を受ける方が、高齢化とともに年々増加。



出典：内閣府　平成29年版高齢社会白書

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～高齢者の美容意識①

**60代後半～70代前半の方の美容意識は非常に高く、
いくつになっても身だしなみに気をつけたい方が大半。
また、元気に生活するために美容の大切さを感じている方も。**

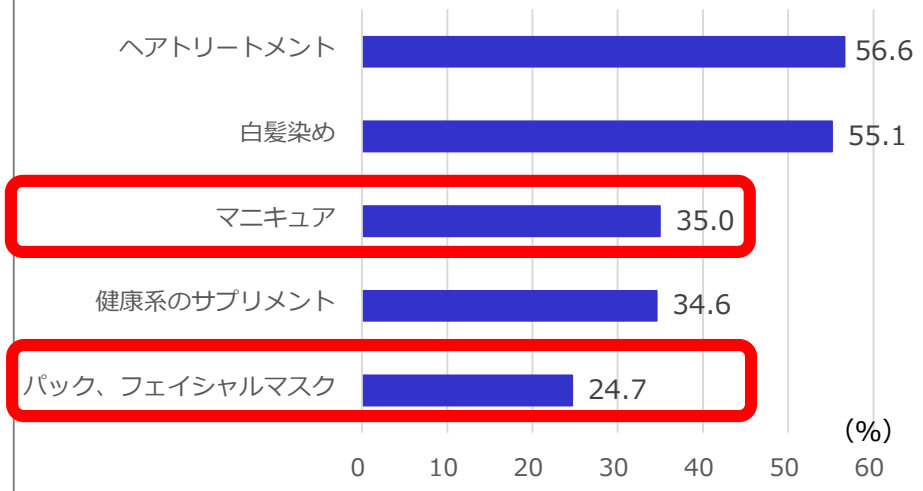


出典：ホットペッパービューティーアカデミー「訪問美容調査（シニア世代）」
（65～74歳、女性、現在美容室利用ありの方　N=1,030）　2017年10月

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～高齢者の美容意識②

**自宅で所有する美容アイテムは、マニキュアが3割超、
4人に1人はパック、フェイシャルマスクを所有。
若い頃、流行のファッションを楽しんでいた方が約半数。**

Q　自宅で所有している
美容アイテムTOP５（MA）



Q　10代～20代の頃、
憧れた、実際に着ていたファッション（MA）

ミニスカート
55.7%

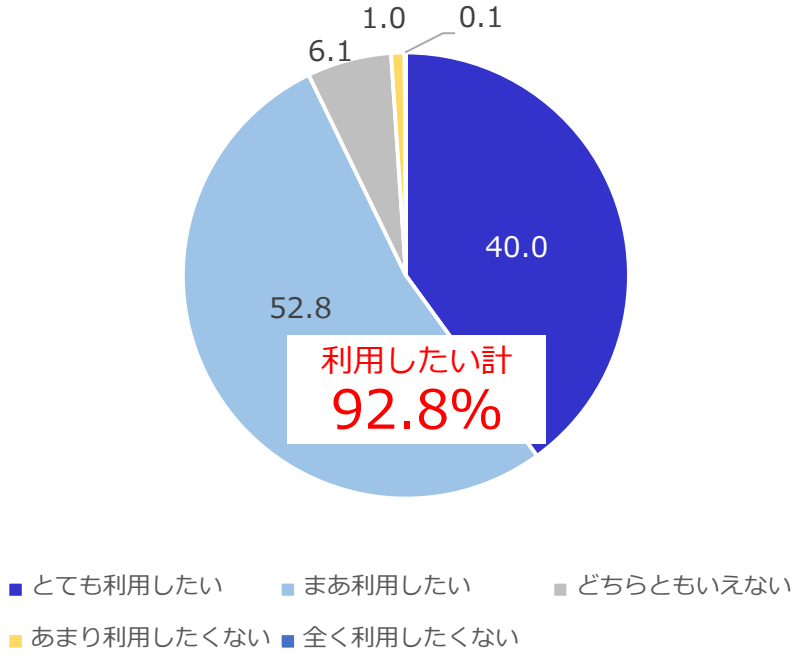
パンタロン
49.9%

出典：ホットペッパービューティーアカデミー「訪問美容調査（シニア世代）」
（65～74歳、女性、現在美容室利用ありの方　N=1,030）　2017年10月

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～高齢者の美容意識③

今後も、美容室など「髪を切る・整えるサービス」を利用したいと思っている方は9割超。

Q　今後も、お金を払って髪を切る/整えるサービス（美容室・理容室・訪問美容等）を利用したいと思いますか？

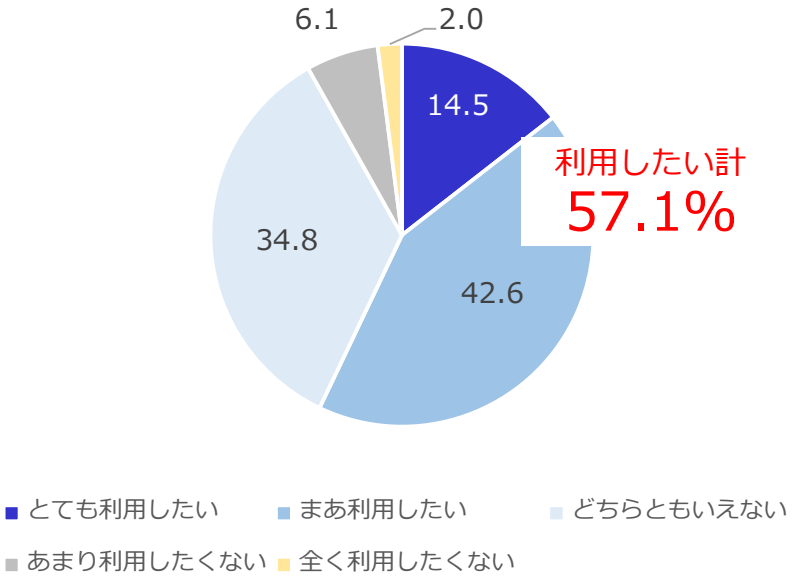


出典：ホットペッパービューティーアカデミー「訪問美容調査（シニア世代）」
（65～74歳、女性、現在美容室利用ありの方　N=1,030）　2017年10月

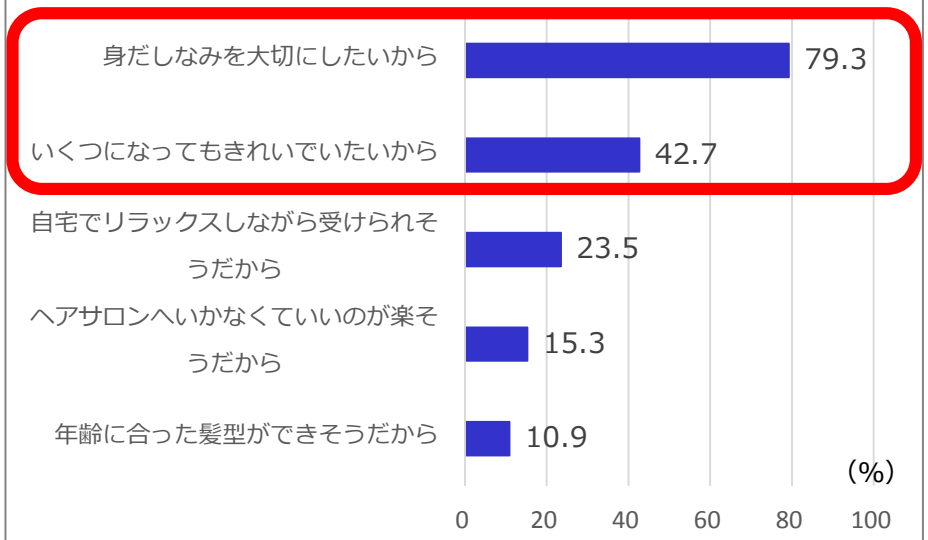
なぜ今「来るスマ美容師」？ ～高齢者の美容意識④

「訪問美容」の利用意向がある方は約6割。
その理由は「身だしなみを大切にしたい」がトップ。
「いくつになってもきれいでいたい」も上位に。

Q　将来的に体の不調などでヘアサロン（美容室・理容室）にいくのが困難になった場合「訪問美容」を利用してみたいですか？



Q　「訪問美容」を利用してみたいと思う理由TOP5（MA）



出典：ホットペッパービューティーアカデミー「訪問美容調査（シニア世代）」
（65～74歳、女性、現在美容室利用ありの方　N=1,030）　2017年10月

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～ご利用者・ご家族の声

85歳　女性
三重県在住・在宅
カット・カラー

利用されてみてどうですか？

１ヶ月半に1度利用しています。左半身が動かないのですが、
寝たきりにならないようになるべく動くようにしていて、
そのためにもきれいにしておきたくて。
カットだけじゃなくカラーもしてもらっています。
美容師さんが来てくれると**張り合い**ができて楽しいの。
おしゃべりするのも楽しみです。

ご家族としてのお気持ちは？

だんだん理容室にいくのが嫌になってしまったようで、
私が切るようにしていました。
施設で美容師さんにカットしてもらえるようになり、
夫がさっぱりしたのを見ると、気持ち良さそうで、
家族としても気分が良くなります。

ご利用者の配偶者
70代
施設・カット

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～介護職員の声

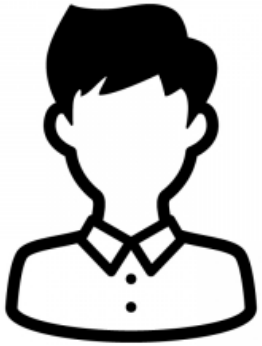
介護職員
女性
神奈川県

ご利用者の変化は？

最近は**青春時代におしゃれをしてきた方が増え、美容やおしゃれに関する意識は格段に上がっていると感じます**。
美容師さんは着ているものもおしゃれだし、都会的。
施設内に美容室を持ち込む感覚で来てくださるので、
お出かけできないご利用者にとって、今まで美容室にいっていたのと同じような感覚でカットをしてもらえているのでは。

介護の現場から見るとどうですか？

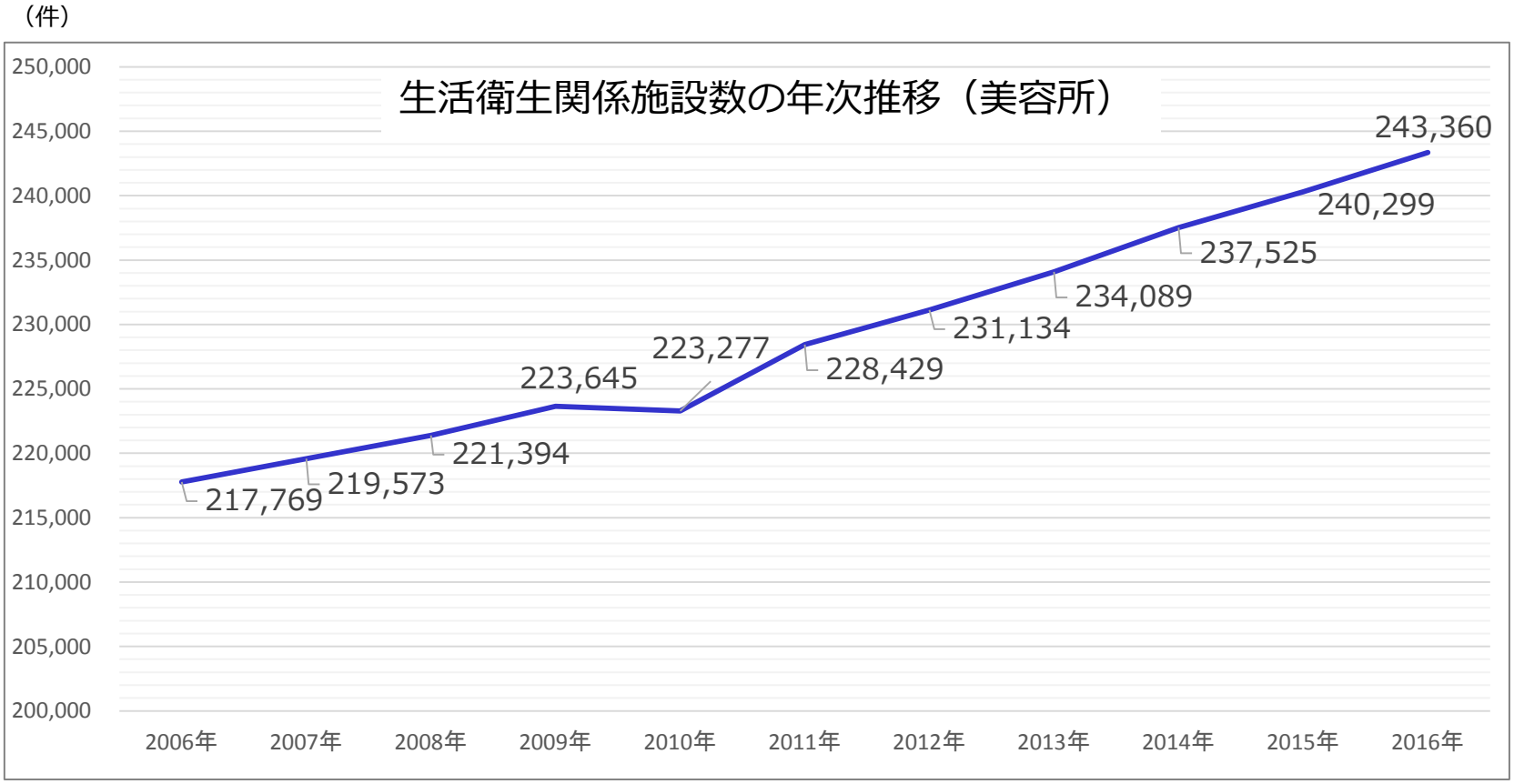
訪問美容を利用することで**ご利用者の笑顔を見ることができ、職員としても嬉しい**。笑顔が出るだけでなく、ご利用者から**いつもと違うお話が出てくることもある**ので、理解も深まり、私たちが癒されることも多いです。



介護施設　施設長
男性
愛知県

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～美容業界の状況①

美容室の件数は年々増え続け、競争は激化。
人口動態の変化や、サロンの強みを生かした差別化、
従業員ニーズにあわせたサービス拡大が必要となっている。

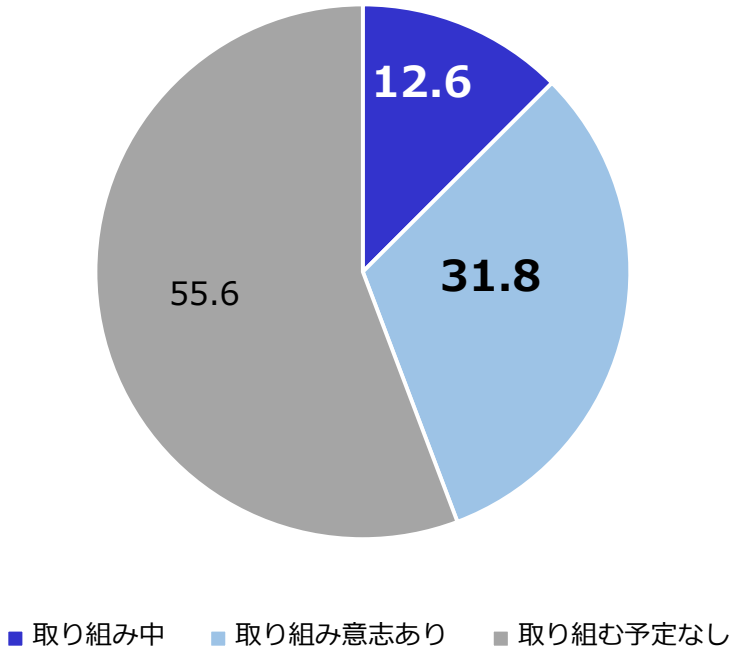


出典：厚生労働省　衛生行政報告例

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～美容業界の状況②

訪問美容にすでに取り組んでいるサロンは12.6%、
取り組む意志があり、準備中や検討中のサロンが31.8%。

Q　サロンで「訪問美容」に取り組んでいますか？

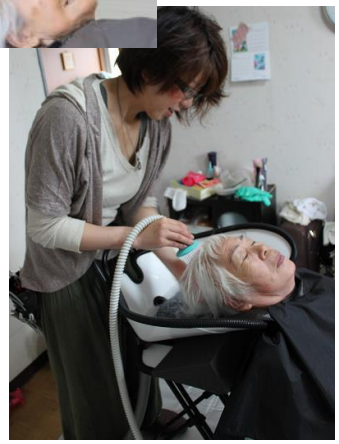


出典：ホットペッパービューティーアカデミー「顧客調査」
（N=2,547）　2017年3月

なぜ今「来るスマ美容師」？ ～取り組む美容師の増加

皆と同じヘアスタイルでは満足しない方たちが増加する中、
一人ひとりに合った**おしゃれなスタイルを提案**し、
働き方や働く意義が多様化する美容師が登場！

社会貢献意欲の高い
若者や、地域密着で働く
若手美容師



時間限定で働くママや、
ブランク後に復帰する
ママ美容師

移動式シャンプー
台などツール類も
進化している

原宿の美容師だった30代男子たちが、若者目線でご高齢者をハッピーに！

trip salon un.（トリップサロン アン）
湯浅一也さん（東京都）

- 「将来は、移動式美容室をやりたい」と思っていた。原宿の若者向け有名店で技術とサービスを身につけ、独立
- 「サロンのクオリティを施設に」がコンセプト。施設に心地いい空間を持ち込み、サロンと同様の施術とサービスを提供
- 現在の契約施設数は120件
- 「人生の先輩であるお客様に、どうしたら喜んでいただけるかしか考えていません」と語る

「訪問美容は天職」と言い切る熱さで 地域とのつながりを大切に

訪問美容室 結 Hair Nail（ゆう ヘアネイル） 橋本結希さん（千葉県）

- 「美容師よりも人助けをする仕事のほうが向いている」と気づき、サロン退職後ひとりで訪問美容をスタート
- 1対1のお付き合いを大切にするため、個人宅中心に訪問。現在の契約数は、個人宅が200件、施設は23件
- 介護福祉士の資格も取得し、サロンも開業
- 「一人ひとりと向き合い“この方にとっての『美』とは何か？”を追求していきたい」と語る

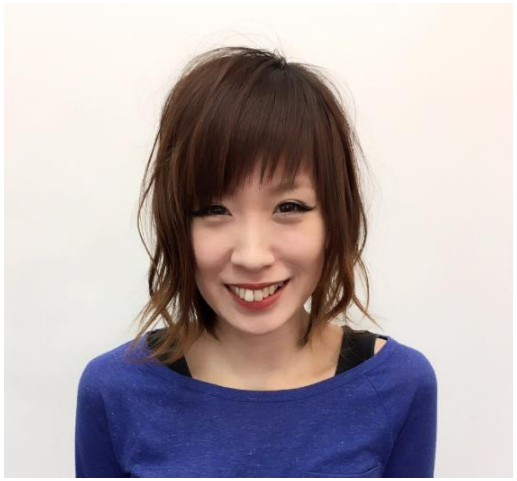
訪問美容歴12年！
家庭と仕事の両立を叶えるパワフルママ美容師

NPO法人 全国福祉理美容師養成協会（ふくりび）
園田敦子さん（愛知県）

・訪問美容歴22年のふくりびで、2005年より勤務
・長男の出産を機にサロンを退職。子育てが落ち着き、ふくりびにて復帰。現在は週4日、息子さんたちが学校に通う時間帯に働いている
・「美容師として与えることよりも、与えられることのほうが多い」と語る

「訪問美容は自然の流れ」と語る
育児真っ只中のママ美容師

SAKULA（サクラ）
北林真唯さん（大阪府）



・最初はオーナー田口美保子さんの思いで訪問スタート
・ママ美容師である北林さんが賛同。資格取得の費用をサロンで捻出し、現在ではスタッフ全員がヘルパー資格を取得
・サロン兼任が3名、訪問専任スタッフ（パート）が5名
・地域密着型サロンとして「一生SAKULAで切ってもらいたい」とお客様に思っていただくことが目標

美容領域における2018年のトレンド予測

いくつになっても、美容室にいくのが困難になってもおしゃれを楽しみたい…
そんな高齢者がいる場所に「スマイルを届けに来る美容師」が増加の兆し！

来るスマ美容師
（くるすまびようし）

10代～20代の頃からおしゃれを楽しんできた世代が高齢者となり、
その人数は今後加速していきます。いくつになっても、今までのようにおしゃれを
楽しみたい。それが、人に会いたい気持ちや生きがいにもつながります。

2018年は、介護保険制度改正、介護報酬改定の年。
介護業界に注目が集まることが予想され、高齢者向けの美容・健康など、
関連・周辺サービスにも新しい動きがありそうです。

一方で、美容業界はサロン数が増え続け、人口減少とともに競争が激化。
サービス拡充によるサロンの差別化、美容師の働き方の多様化など変化が出始めています。

「カリスマ美容師」から「来るスマ美容師」の時代へ。
美容室にいくのが困難な高齢者により良い美容サービスを提供する、
「自宅や施設にスマイルを届けに来てくれる美容師」が、今後ますます増えていきそうです。